



平成 26 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
 (コード番号:東証JASDAQ2134)
 問 合 先 取締役 経営管理本部 本部長 桐島 悠爾
 (TEL. 06-6205-5611)
 U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

平成26年3月期 第3四半期決算に関する補足説明に関するお知らせ

平成26年3月期 第3四半期決算(平成25年4月1日～平成25年12月31日)につきまして、下記のとおり補足説明致します。

記

《平成 26 年 3 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 に つ い て》

当社グループの平成26年3月期 第3四半期の連結業績は、売上高331百万円(前年同四半期比65.5%減)、営業損失29百万円(前年同四半期は208百万円の営業損失)、経常損失63百万円(前年同四半期は217百万円の経常損失)、四半期純利益33百万円(前年同四半期は1,329百万円の四半期純損失)となりました。

(単位:百万円)

	平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 実 績	平成 26 年 3 月 期 第 3 四 半 期 実 績	前 年 同 四 半 期 比 (%)
売 上 高	961	331	▲65.5
営 業 利 益	▲208	▲29	—
経 常 利 益	▲217	▲63	—
四 半 期 純 利 益	▲1,329	33	—
1 株 当 た り 利 益 (円)	▲225.00	4.93	—

(コメント)

- ① 売上高につきましては、期末に向けた取り組み案件の準備は進んでいるものの、第3四半期中の成約には至らなかったこと、前期に事業のリストラクチャリングの一環として、連結子会社を2社(燦アセットマネージメント株式会社(現 サムティアセットマネジメント株式会社)、株式会社グランドホテル松任(現 株式会社グランドホテル白山))を売却したこと等が主な要因で、前年同四半期と比べ、65.5%減少しております。
- ② 一方、営業利益、経常利益につきましては、上記のとおり第3四半期中の成約には至らず、引き続き赤字を計上しておりますが、当該連結子会社の売却、役員報酬等の削減、業務効率化、契約条件見直しによるコストの削減等により、赤字幅は改善してきております。



- ③ なお、四半期純利益につきましては、第2四半期に計上しました投資先(株式会社エスシステム)向け貸倒引当金の取り崩し、及び同事業損失引当金の戻入れによる、営業外収益(11百万円)及び特別利益(103百万円)が大きく寄与しております。なお、前期に事業のリストラクチャリングの結果、保有不動産の減損損失、子会社株式売却損等の多額の損失を計上し、また、保守的な見地から、投資先の債権等に対して十分な引当金を計上したため、今期におきましては大幅な営業外損失又は特別損失の発生の見込みはございません。

《資金調達の見通しについて》

平成25年8月14日に決議致しました第三者割当による新株式(金銭出資及び現物出資(デット・エクイティ・スワップ))及び第3回新株予約権の発行により、以下のとおり予定した資金の調達を予定どおりすべて達成しております。

調達した資金については、順次収益事業に投資しており、今期及び来期以降の収益を実現し、株主価値の向上を志向する所存でございます。

なお、今後につきましても、収益の実現に有益な資金調達について、鋭意検討してまいります。

(単位:百万円)

	金額
新株式発行による調達(平成25年8月30日完了)	124
内、現物出資	94
第3回新株予約権の行使による調達(平成25年11月25日完了)	193
合計(現物出資によるものは除く)	223

《債務超過の解消について》

当社は、前期(平成25年3月期(第21期))決算において、債務超過(自己資本▲101百万)となっておりますが、上記資金調達を確実に実現したこと等により、平成25年12月31日現在、自己資本250百万円であり、債務超過を解消しております。



《平成26年3月期 連結業績予想》

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
通 期	672	182	133	108	円 銭 14 52

(コメント)

- ① 下期において、上期から期ズレしました業務提携先との不動産流動化(各種アレンジメント)案件及び各種仲介事業による収益獲得を予定しており、通期の業績予想は据え置きとしております。
- ② 今回、達成した資金調達により、今期のみならず来期のさらなる収益機会の獲得が見込めます。この点については、確定し次第、直ちに開示いたします。

現在、今後の展開を踏まえた事業計画について、策定作業中であります。次回決算発表時(平成 26 年5月 15 日予定)をめどに併せて開示させて頂く予定であります。

以 上

※本資料に掲載されている業績予想および業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。